

齊信会ガーデンプレス

2023.秋号



齊信会 職員旅行

— INDEX —

- ベトナム人技能実習生の受け入れに関して
- 職員研修
虐待防止研修
- 部署記事
こてはしガーデン
- 齊信会 職員旅行
- 栄養だより
令和5年度 秋号
- 令和5年度 齊信会行事予定



Follow Me!

はじめました

Instagram

seishinkai2005



SEISHINKAI2005

発行: 令和5年10月
発行元: 社会福祉法人 齊信会
編集人: 広報委員会 発行責任者: 大神和哉
住所: 〒262-0018 千葉市花見川区畑町 591-17
電話: 043-350-1550



ベトナム人技能実習生の受け入れに関して

日頃より当法人の施設運営にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

さて、今回はタイトルの通り、ベトナム人技能実習生の受け入れに関してお伝えします。

技能実習制度は国際貢献のため、開発途上国等の外国人を日本で一定期間に限り受け入れ、現場実習や訓練を通じて技能を習得し、母国で活躍していただく制度です。また、技能実習生は雇用関係の下、各々の現場でも活躍していらっしゃいます。

海外で多くの方々が母国以外で技術を身につけようとしている一方、私たちの住む日本では多くの職種で人手不足が叫ばれております。斉信会でも状況は同じで、今回技能実習生を受け入れることにしました。長い目で見ると多くの方々に斉信会で活躍していただくことは利用される皆さんにとっても、職員にとっても良い影響があると考えています。

技能実習生は現地ベトナムの送り出し機関で日本語や介護の勉強をしてきました。昨年の夏にベトナムと斉信会をつなぎ、オンラインで面談を行いました。オンラインでは画面上でのやり取りになりましたが、どの方もしっかりと挨拶をされており、大変好感のもてるものでした。面談を経て、2名の方(女性)を選ばせてもらいました。

昨年の秋には斉信会の職員2名がベトナムへと渡り、実際に現地で2名の方に会ってまいりました。現地の機関で勉強をする様子や1名の方のご家庭を訪問させていただき、いかに日本で仕事をすることに熱心な考えをお持ちかを確認しました。少し横道に話はそれますが、ベトナムは大変活気があり、ベトナム全体の勢いを現地で感じることができました。ベトナムから羽ばたく人が斉信会に加わることは大きなプラスになると思いました。

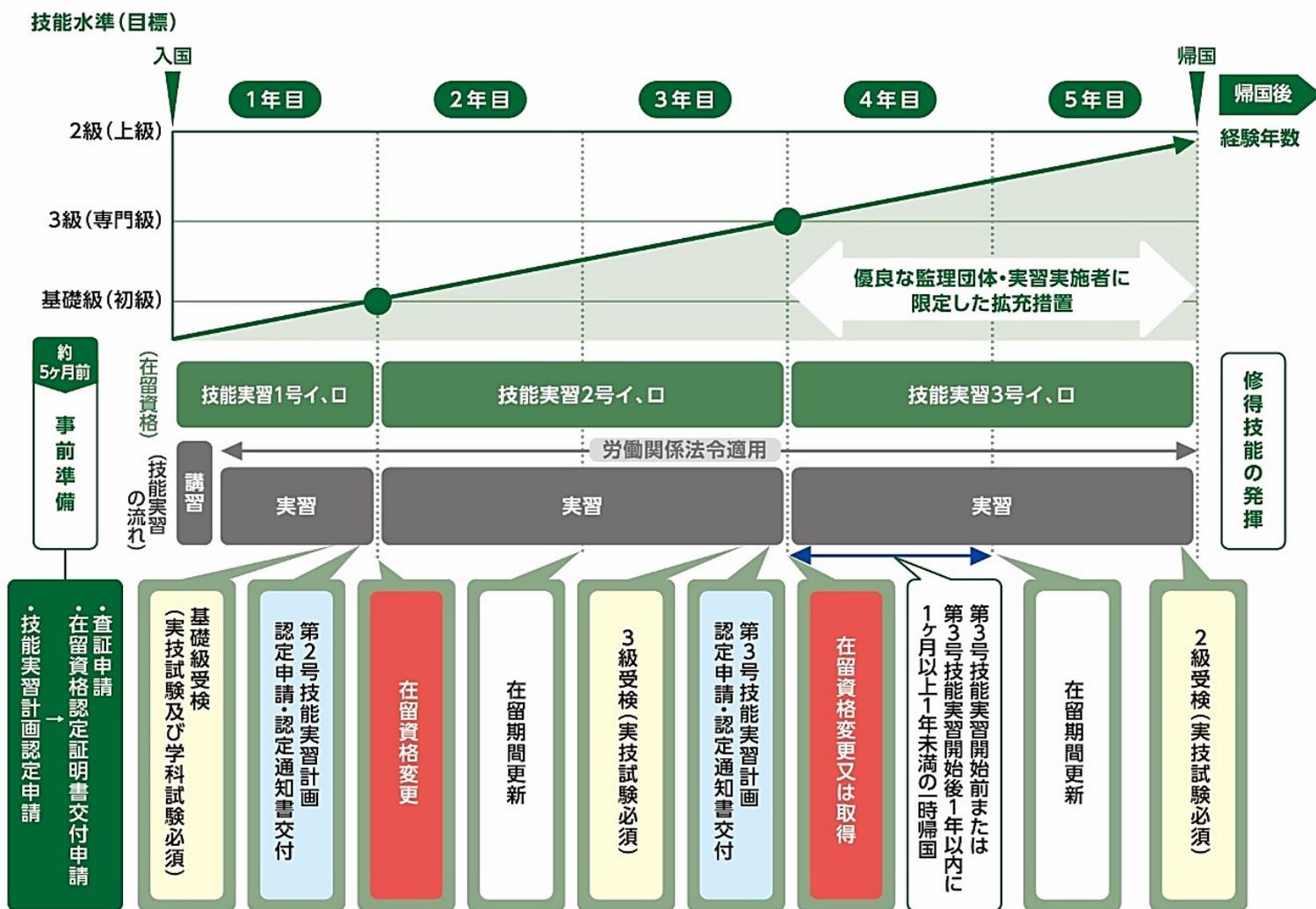
2名のベトナム人の方は、その頃はまだ挨拶程度の日本語くらいしか出来ないようでしたが、年をまたいで、仲介業者担当の方から都度メールで日本語、介護の勉強の進捗状況が伝えられ、本人たちの成長も見てとれることが出来ました。

面談から約一年が経ち、日本に来る日が決まってきました。私たち斉信会の職員も勉強会をしたり、研修に参加することなどして受け入れの心構えをしてきました。2名の方は9月中旬に来日しました。来日後、すぐに斉信会で業務にあたるわけではなく、入国後講習を約一ヶ月間受けることになっております。その為、この文章を作成している9月下旬では日本で勉強をしている段階です。そして、10月下旬から斉信会で勤務を開始する予定となっております。

先日、国際電話でベトナム人技能実習生の方とお話する機会がありました。一年前と比較すると日本語がとても上手になっており驚きました。異国の地で働くことに対して、とても前向きであることが電波を通して伝わってきました。しかし、初めての日本での生活には多くの不安もあるはずですので、少しずつ日本の習慣に慣れていただきながら、斉信会を利用される皆さんとも仲良くなっていきたいと切に願っております。



福祉もグローバルな時代を迎え、外国人人材が支援現場に入ります。文化の違いを乗り越え、私たちが学ばせて頂くという気持ちで、共に働いていきます。あたたかい目でベトナム人技能実習生の活躍を見守っていただければと思います。



上記の表は技能実習生の今後のスケジュールになります。少しわかりにくいのですが、簡単に説明しますと、来日2年後に試験があり、それに合格するとさらに2年、その後再び試験があり、それに合格するとさらに2年・・・と最大5年活躍できる制度となっております。

虐待防止研修

齊信会では毎年複数回「虐待防止研修」を法令に基づき行っています。ここ数年はコロナ禍のため、中止になることもありました。ZOOM を使用しての小グループでの視聴・ディスカッションの形にするなど工夫して行ってきました。今年度はコロナ禍が終わり最初の研修となりました。今年度第一回は「身体拘束」をテーマとして行いましたので、内容をお知らせ致します。

全ての職員が身体拘束に関する動画を視聴し、内容の確認と支援の振り返りを紙面上で行いました。また入社4年目までの支援員は一同に集まり対面上のディスカッションを行い、理解を深めています。

紙面上では虐待の種類や身体拘束の条件などの確認を行い、動画では心理的虐待や身体拘束について、現場の状況に対する対応について視聴し回答しています。入社4年目までの支援員におけるディスカッションについては、不適切な支援が虐待に至るのはなぜでどのような過程をたどるのか、などについて話し合いをしています。自分の経験談や他職員の意見等も真剣に耳を傾けている姿が印象的でした。

障害者虐待防止法では、「正当な理由なく障害者の身体を拘束すること」は身体的虐待に該当する行為とされています。緊急やむを得ない場合は3要件(切迫性、非代替性、一時性)を満たす必要がありますが、満たせば身体拘束を行ってよいというものではありません。身体拘束を行わない様に安全に支援するにはどうしていくかを日々職員間で試行錯誤しています。利用者の方に安心安全に過ごして頂けるため、職員も法人も家族もワンチームとなって支援していきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

最後に動画内において支援等における川柳が紹介される場面があり、それに伴い任意で職員が川柳をつくっています。

「ありがとう だから大切 その言葉」、「大声は 虐待入口 危ないよ」などの素敵な川柳をたくさん書いてもらえました。

虐待防止委員会では4ヶ月に1回、標語を各部署に掲示して啓蒙活動を行っています。今回の川柳も参考にしながら、標語を考案していきたいと思えます。



下に研修で使用させて頂いた動画のリンクとQRコードを貼りますので、もしよければ参考にしてください。

虐待・身体拘束研修用動画(20:27)

<https://www.youtube.com/watch?v=sFW6plaDeEE>



施設利用者の身体拘束と安全確保(10:51)

<https://www.youtube.com/watch?v=PHNB0Hs9RQQ>



こてはしガーデンより

皆さんこんにちは！ 4月からこてはしガーデンに配属となりました高木です。

こてはしガーデンに来る前は入所生活介護男性寮の職員として畑町ガーデンで働いていました。

さて、今回の異動に伴い、感じたことがありましたので、お話をさせていただきます。仕事面に関して感じた事として、障害を持たれた方の支援をするという点は同じですが入所と通所では、利用者様に提供する支援内容や意識が大きく異なるということです。入所生活介護では、どうすれば安心且つ安全に過ごして頂くことが出来るか？を重点に考えながら、利用者様の日常生活上の支援を主に行ってきました。こてはしガーデンでは、安心安全に過ごして頂くことはもちろんのこと、畑作業や散歩といった身体を動かす活動、受注作業や自立課題等、手先の訓練を行う活動もあり、活動面の充実さに驚きました。

また、「利用者様と一緒にいる」ことを重点に置いているのだなと強い印象を受けました。特に畑作業に関しては、入所生活介護の時には想像もしていなかった仕事内容であり、私自身も小学生の頃に体験した田んぼに稲を植える農作業以来の経験だった為、戸惑いながらも周りの職員にやり方を教わりつつ、日々利用者様と一緒に新鮮な気持ちで畑作業に取り組んでいます。今はまだ異動して日が浅いですが、畑町ガーデン時代同様に、積極的に利用者様と関わることで、利用者様に対する理解を深め、「私達が利用者様に対してできることはなにか」「利用者様はどうすれば毎日楽しく過ごせるのか」を日々考えて仕事に努めていきたいと思えます。

さて。話は変わりますが今回、4年ぶりとなる全体旅行へ行ってきました！障害者福祉バス「たいよう号」に乗り、皆でマザー牧場へ行ってきました！「山の上ゲート」にバスを止めて外に出てみると、房総半島の山々や、東京湾や富士山などが見渡せる絶景が広がっていました！利用者様も景色を見て興奮している方もいれば、少し怖がっている方もいらっしゃいました。

入場後は全体での写真撮影をし、昼食でカレーライスを食べました。カレーの味付けも美味しかったです。中に入っていたお肉が大きくて、柔らかく、とても食べ応えのあるお昼ご飯で、皆さん満足そうに食べていました。昼食後は各班に分かれて園内散策をしました。食後のデザートでパフェや、アイスクリームを食べたり、園内のアトラクションに乗ったり、羊のSHOWを見たり、子豚のレースを見たりと皆さんそれぞれ楽しまれていました。帰り際にお土産を購入される方もおり、満足そうな表情を浮かべていました。4年ぶりの全体旅行ということで、職員一同も準備や当日の流れの調整等細かい点を整えるのが大変な面もありましたが、大きな事故やトラブルもなく、皆で楽しんで旅行に行けたことはすごく良い思い出になりました。

齊信会の【公式Instagram】にも今回の全体旅行の投稿がありますので、ぜひチェックしてみてください！

今後とも職員一同精進して参りますので、ご理解、ご協力の程宜しく願います。



職員旅行 ～山梨～

こんにちは。8月からサービスセンターに異動となりました宮澤です。

令和5年5月8日から新型コロナウイルスも5類感染症になりました。以前よりは出かける機会も増えてくると思います。そんな中、基本的感染対策は行いながら外出を楽しめたらと、今回は山梨へ職員旅行に行った報告をさせていただきたいと思います。

9月のシルバーウィークに斉信会の職員10名でハイエースに乗り山梨県に向かいました。天候も良く外出日和！しかしシルバーウィークということもあり山梨まで6時間もの渋滞！（泣）あまりにも長い渋滞でトイレ休憩にも中々行けず途中で高速を降りマクドナルドで朝マックを食べました。（笑）その後予定より2時間以上遅れて山梨市落合にある萩原フルーツ農園に到着。農園の方から美味しいブドウの見分け方（緑色より黄色い方が甘いとのこと）を聞き日差しが焼けるように暑い中、みんなで甘いブドウを求め楽しくブドウ狩りを行いました。フルーツ農園ではブドウ狩りを行った後、カフェで一服。それぞれに、もぎたてのブドウやフルーツパフェ、ワイン等を頂きました。新鮮なブドウはとても甘くて食べた職員一同感動モノでした！新井支援員は一口食べた後に叫ぶほど感動していました。（笑）ブドウ園のカフェではカウンター席は目の前が窓になっていて座って見る広大な景色は素晴らしく、大神施設長は一息つきながら景色を満喫されていました。ブドウ狩りの後は、ほうとうの食事処小作へ…私は鴨肉のほうとうを頂きました。鴨肉の脂が溶けた甘いスープがとても美味しかったです！木川主任はキノコのほうとうを注文。さっぱりした味のスープでキノコのほかに山菜もいっぱい入っていて美味しかったです。熊谷支援員は猪のほうとうを注文。味は確認していないので熊谷支援員に会った際はどんな味だったか聞いてみて下さい。小作には他にもすいとん、おじゃ、天ぷら、馬のもつ煮や馬刺し等もありました。色々頼みたくなりましたが、ほうとうでお腹がいっぱいになってしまったので食べられず残念でした。食事の後は大神施設長が楽しみにしていた温泉へ！ほったらかし温泉という面白い名前の温泉…男性陣5名で温泉、他5名は散策。ほったらかし温泉は山のかなり上の方にあり、自然豊かな山と町の明かりが燈った景色と一緒に見える夜景はとても綺麗でした。温泉もとても良かったそうですが、詳しく知りたい方は是非大神施設長に聞いてみて下さい。

以上が山梨旅行の楽しかった出来事です。行きの渋滞で現地に到着する時間が大幅にずれてしまいゆっくり時間が取れない場面もありましたが、予定にはない場所での買い物、渋滞中の車中、インターでの買い物や出来事も楽しい思い出となりました。

山梨から畑町ガーデンに帰ってきた時には足がパンパンにむくんで疲れましたが、久しぶりの職員旅行は他部署の人とも交流ができてとても楽しかったです！



SDGsの17の目標



今回は、個人でできる身近な取り組み第3弾をご紹介します！

災害に対する備えをしておく

SDGs目標11では、災害などがあっても早く回復できる街づくりに着目しています。私たち個人で出来る事は、災害に対する備えを各家庭でも準備しておくことです。

当法人でもBCP(事業継続計画)の策定を進めており、災害備蓄品として80人分5日間分を備え、ローリングストック方式で常に入れ替えを行っています。

また、家族会より寄付頂いた災害時炊きだし用の大鍋(まかないくん)を年2回使用し、有事にすぐ使えるように職員の訓練の一環としています。

災害が起こっても慌てないように、日頃から避難経路を確認しておく、緊急時の連絡方法を家族間で決めておくことも大切です。

家庭での備蓄例 1週間 大人2人分

(農林水産省)

必需品	主食
水 2ℓ×6本×4箱 カセットコンロ カセットボンベ 12本	米 2kg×2袋 そうめん パスタなど 4袋 カップめん 6個 パックご飯 6個
副菜・その他	主菜
野菜ジュース インスタントみそ汁 梅干・のり 食糧 塩・砂糖 しょうゆなど	レトルト食品 缶詰 18缶 牛丼の素・カレーなど 18個 パスタソース 6個

節持続可能なエネルギーを使う

日本の主なエネルギー源は、石油・石炭・天然ガスなどの化石燃料です。ただこれらの資源は無限にあるわけではなく、いつかは尽きてしまいます。

この「資源枯渇問題」への対策として期待されているのが、再生可能エネルギーです。

再生可能エネルギーとは、太陽光・風力・バイオマスなど、資源がなくなるとされ、また、温室効果ガスを排出しない(もしくは増加させない)という特徴もあり、地球温暖化の防止にも効果があるとして注目されています。

当法人でも、太陽光パネルを屋上に設置し、法人車両のリーフ、ミーブの充電に使用したり、停電時には畑町ガーデン2階食堂の緊急用電源として使用できるようになっています



太陽光発電



火力発電



水力発電



風力発電



地熱発電



バイオマス発電

令和5年度 齊信会行事予定

	畑町ガーデン (施設入所)	畑町ガーデン (生活介護、自立訓練)	畑町ホーム 通勤寮	ちぐさホーム
11月	避難訓練	活動日 (11、25) 日帰り旅行 避難訓練 個別支援検討会議 (自立)	寮生会議 (22)	
12月	クリスマス会 餅つき会 冬季帰省 (29-1/3) 給食停止 (30-1/2)	活動日 (2、16) 冬季休業 (30-1/3) クリスマス会 餅つき会 個別支援計画面談	寮生会議 (27) 忘年会	
1月	新年会	活動日 (6、13、20、27)	寮生会議 (24)	

	こてはし ガーデン	花見川 ワークサポート (就労継続支援B型、 生活介護)	法人
11月	活動日 (11、25)	活動日 (11、25) 日帰り外出 (生活介護)	運営会議 (15) 全体会議 (18) はたまち食堂 (24)
12月	活動日 (2、16) クリスマス会 冬期休暇 (30-1/3)	活動日 (2、16) クリスマス会 餅つき大会 冬期休業 (30-1/3)	理事会 (9) 運営会議 (21) 全体会議 (23)
1月	活 動 日 (6、13、20、27) 防災点検 新年会	活 動 日 (6、13、20、27)	運営会議 (18) 全体会議 (21) はたまち食堂 (26)

※カッコ内の数字が実施日となります
※諸事情により中止・延期となる場合があります